

【第3分科会】教育環境整備に関する課題

<p>提言1 研究主題</p>	<p>児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができる環境整備にかかる取組（防災体制づくりの視点を通して）</p>
<p>提言者</p>	<p>佐賀市立城東中学校 教頭 田中 千恵子</p>
<p>協議内容</p>	<p>【グループからの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀市3つの地区の特徴に応じた実態調査（課題）や沿岸地区の課題、体制作りが参考になった。 ・ メール配信についての責任や文章作成について。 ・ 地域との連携で児童生徒の意識を高める（実際に体験したことで） ・ 唐津は広く、様々な学校があり、とても参考になった。危機管理マニュアルは見直しを行わなければならない。 ・ 防災教育コーディネーターとの連携について ・ 地域連携を担う学校の担当としての地域コーディネーター（防災教育コーディネーター） ・ どのような役割を担い連携していくのか。 ・ 地域連携が難しい状況にあるが、どのように作り上げていったらいいのか。
<p>提言2 研究主題</p>	<p>「児童生徒が安全・安心な学校生活を送るための環境整備について」（大雨及び感染症に関する取組を通して）</p>
<p>提言者</p>	<p>嬉野市立大野原中学校 教頭 江下 毅</p>
<p>協議内容</p>	<p>【グループからの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「早め」の定義について ・ 避難訓練はより実際の場面を想定しての訓練が必要である。マニュアル作成 訓練と実際の違い ・ 想定外の災害等が起こった場合の判断力について ・ 早めの情報収集、判断、近くの学校と連絡を取り合うことについて ・ 平時からの呼びかけの大切さについて ・ 内容を整理し、対応がスムーズにできるようにすることが大切 ・ 引き渡し訓練、計画を立てた訓練、不審者、突発的に起こるものへの対応について ・ 情報収集、連絡網整備、防災教育の取組について
<p>指導助言者</p>	<p>学校教育課 生徒支援室長 指導主幹 馬郡 直樹 様</p>
<p>助言内容</p>	<p>○ 危機管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雷への対応が難しい ・ 下校させてから天候が急変することもある ・ 不審者侵入に対する訓練 大阪池田小を受けた動画を使っての研修 ・ 受け渡し訓練について、グラウンドを蛇行しながら、全校生徒は体育館 ・ 決まった形があること、同じようにできることが大切 ・ 想定して行うことができるように、目的と役割 ・ 保護者、児童生徒、職員による共通理解 ・ ドライブスルー方式で運動場を使って、やってみて改善していくことが大切 ・ 職員の周知、役割の認識が課題